



Let's learn something new through Book reading

今回の図書館だよりでは、教育実習生の先生のおすすめ本を紹介しします。皆さんは、先輩でもある実習生の先生方とお話できましたか？短い期間でしたが、実習生の皆さんありがとうございました。お世話になった先生方がすすめてくれた本は図書館にありますので、読書の参考にして欲しいです。

さて、話は変わりますが、期末考査が終わって待ちに待った夏休みがやってきます。夏休みの計画は立てていますか？遊ぶ計画や、宿題の計画、部活の予定など、忙しいとは思いますが、夏休み中に本をたくさん読むなどはどうでしょう。高校生の夏にしか読めない本に出会ってほしいです。1年生は読書感想文コンクールもあります。出校日に担任の先生まで提出してください。詳細は下記に。



教育実習生からのお薦め本

中谷 一葉 (なかやいちば) 英語科
『僕たちは世界を
変えることができない。』

葉田甲太 著

主人公である甲太は大学生のある日「150万円でカンボジアに学校が建てられる」というポスターを見つけ、大学の友人を集めサークルを結成。しかし、貧困、ゴミ山、エイズなどのたくさんある問題を抱えるカンボジアに小学校を建てることは簡単ではなかった。しかし、諦めることなく誰かのために汗を流し、夢を追いかける甲太の姿が印象的であり自分自身の心も動かされます。

実際に私も高校生の時に読んでから、大学生になったら世界の恵まれない人のためにボランティアをすると決心し、甲太と同じようにラオスに小学校を建設しました。人生を大きく変えられる一冊なので是非読んでみてください。

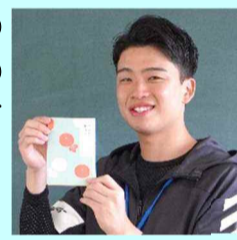


栗石 愛斗 (しずくいしあいと) 保健体育科
『兎の眼』

灰谷健次郎 著

この本を読んで教師にとって必要なことをたくさん勉強しました。勉強が苦手な生徒には家を訪問し、先生自身も勉強しながら生徒に寄り添っていくということは、教師に一番必要なのではないかと考えるようになりました。また、登場する先生は、どんな生徒にも常に笑顔で生徒たちと接しており、私もこんな教師になろうと感じたきっかけになりました。

この本に登場する生徒は、住む場所にするには過酷な環境で、お金がなく、たくさんの苦しいことがあるはずなのだが、生徒たちはすごく楽しそうに、幸せに過ごしています。この本を読み、幸せはお金だけではなく、今の生活をどう感じるかの気持ちの持ちよう、人は幸せに暮らすことができるのだと勉強になりました。



林 光生 (はやしこうき) 英語科
『語彙力こそが教養である』

齋藤 孝 著

大学1年生の時、英語について勉強していると、多くの先生方から「語彙力を伸ばす、身に付ける」よう指導されました。ほとんどの教授が口を揃えて言うので、当時の私は「そもそも『語彙』とは何なんだ？」と思い、大学の図書館で手に取ったのが本書になります。

本書は語彙だけでなく具体的な語彙力向上方法も紹介されているので、言語学に興味のある方、プレゼンやスピーチが少し苦手だなという方には特におすすめです。また、中には高校での学習に役立つものもあるのでぜひ一度読んでみてください。



松藤 梨紗 (まつりじりさ) 国語科
『神様』

川上弘美 著

大学の授業で出会った大好きな一冊を紹介しします。表題作『神様』は、隣に越してきた「くま」と「わたし」が、散歩に出かける物語です。穏やかな風景が描かれながらも、本作にはどこか寂しさが底流しています。人の言葉を話す「くま」は、一見人間と共存できているようで、実は社会に馴染もうと無理をしている様子も見せています。そんな「くま」と「わたし」は上手くやっていけるでしょうか？

単行本には『神様』の続編『草上の昼食』ほか、九つの短編が収録されています。どれも短くて読みやすいお話ばかりです。ぜひ読書タイムの一冊に手に取っててくださいね。

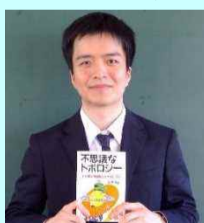


石井 叶途 (いしいかなと) 数学科
『不思議なトポロジー』

山手線の地図は何故丸いのか』

岡部恒治著

数学の概念であるトポロジーについて、生活の中で見かけるものを例に楽しく理解できる本です。数学が苦手だ、興味がない、という人にとっても、メビウスの輪やクラインの壺といった、数学の不思議というテーマを出発点に、分かりやすく読めることが出来ると思います。また、この本の最大の特徴は、トポロジーにおける未解決問題(ミレニアム懸賞問題と言われるもの)がこの時はまだ解決されていなく、それについての言及も勿論されているが、数十年後、未解決問題の中で唯一解決された問題であるという認識を持って読んでみると、非常に興味深いものを感じることが出来ます。



図書係新海先生のお薦め本

『リカバリーカバヒコ』青山美智子 著

青山美智子さんらしいほのぼのとした物語。5話の短編集で各年代別の主人公なので誰が読んでも共感できると思う。さしずめ君たちなら第1話「奏斗(かなと)の頭」がお勧め。中学まで成績がよかった過去の栄光にすぎた高1の奏斗くんの苦しみ、ぼやきは「あーわかる」かも。でも最後に光のさす癒されるいいお話です。疲れた時に是非どうぞ。私は市の図書館でこの本を借りようと思ったら予約100人待ちだった。常高ならすぐ読めるぞ。

因みに私は第5話が身につまされました。すべてのお話が最後に繋がってくる。他にも同作者の『お探し物は図書室まで』も不思議な話で面白い。



図書館からのお知らせ

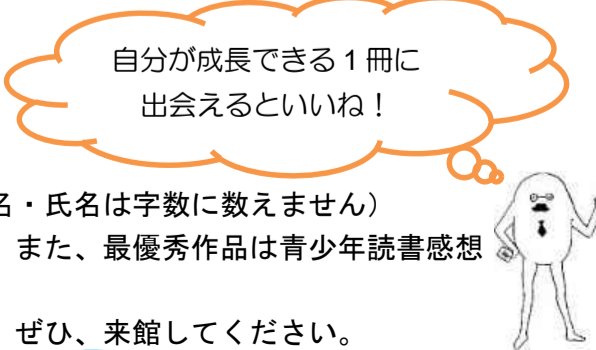
第15回校内読書感想文コンクール作品募集 書いてみようよ、自分の言葉で。

- ☆提出日・提出先
 - 1年生(夏休み課題) 8/8(木) クラス担任へ提出
 - 2,3年生(自由応募) 9/2(月) 図書館へ提出

☆応募規定
400字詰め原稿用紙4枚以上5枚以内(題名・学校名・氏名は字数に数えません)

☆優秀作品には最優秀賞・優秀賞・優良賞が贈られます。また、最優秀作品は青少年読書感想文愛知県コンクールに応募します。

*図書館に課題図書とおすすめの本が用意してあります。ぜひ、来館してください。



夏休み中の開館日

- July 7月
 - 22日(月)~31日(水)(土日を除く)
- August 8月
 - 8日(木) 出校日
 - 19日(月)~23日(金)(土日を除く)
- ★貸出冊数 一人5冊まで
- ★開館時間 9:00~16:00

